

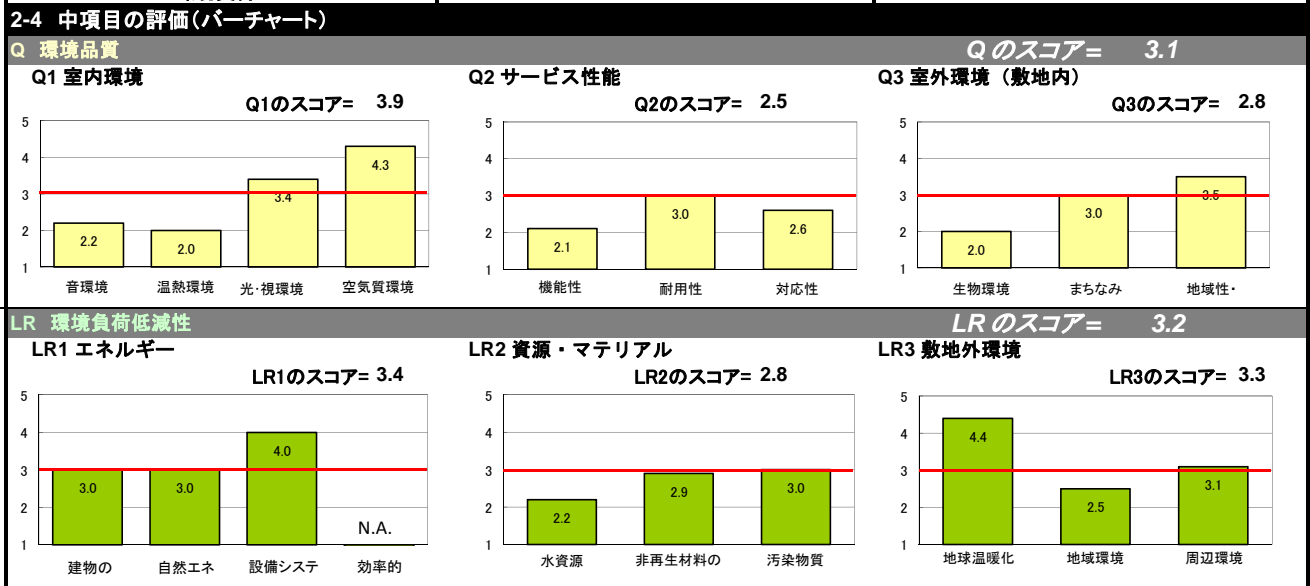
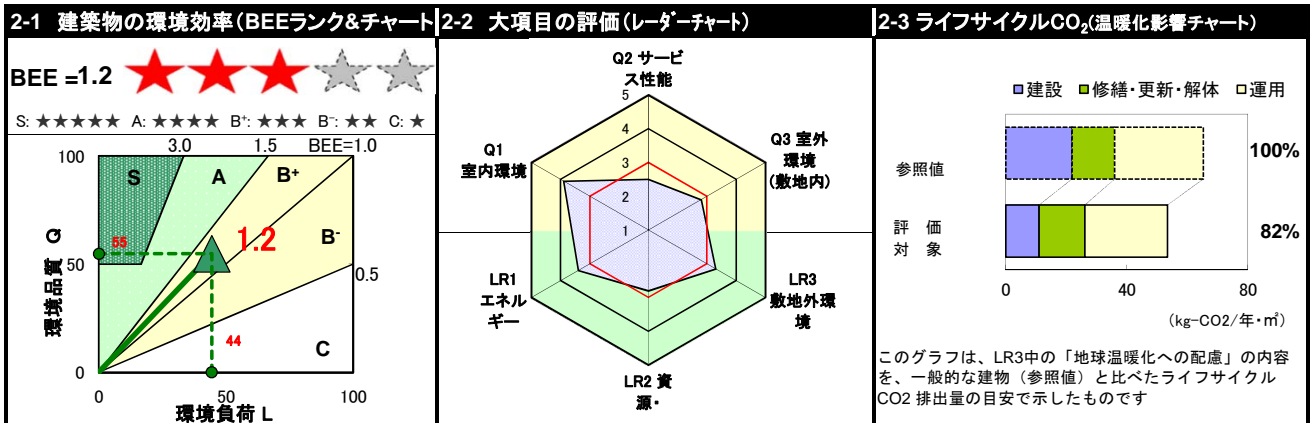
# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築(簡易版)2008年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb\_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	南天田団地第1期	階数	地上6F
建設地	京都府福知山市	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、法22条地域	平均居住人員	96人
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年3月 予定	評価の実施日	2010年9月7日
敷地面積	3,635 m <sup>2</sup>	作成者	湯浅基宏
建築面積	522 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,362 m <sup>2</sup>	確認者	

外観/パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 省エネルギー、環境負荷の低減により、環境に配慮した住宅を目指した。	<b>その他</b> 0	
<b>Q1 室内環境</b> 外皮性能の向上 室内VOCの低減 自然換気性能の向上	<b>Q2 サービス性能</b> 耐久性の向上 バリアフリー化	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 景観への配慮 緑化の推進
<b>LR1 エネルギー</b> 自然採光、通風の確保 省エネルギー機器の採用	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 分別解体への配慮	<b>LR3 敷地外環境</b> 緑化の推進 駐車・駐輪場の確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される